

[home](#)

WINDS CAFE でお会いしましょう

WINDS CAFE とは、1997年1月から、川村龍俊が、音楽を中心に美術演劇映画などさまざまなジャンルの方々に企画していただきながら続けている、イベント+パーティーです。いわゆる「オフ会」ではありません。ご来場にあたって予約は必要ありません。基本的に入場料は無料、出入り自由で、パーティーでの飲食は参加者のみなさまからの差し入れを期待しております。

WINDS CAFE のコンセプトは、「好きなことやものを楽しんでいる人と一緒にいるのはなんて楽しいことだろう」です。出演を依頼するときには、このコンセプトを共有していただけることが条件になっています。

1997年1月にスタートした **WINDS CAFE** も、2017年には、ついに21年目を迎えることになりました。これも、ご来場いただいた皆様、そして企画してくださった方々のおかげです。吉祥寺・三軒茶屋・下北沢・西荻窪・等々力・四谷・新大久保・原宿等、諸事情によってたびたび会場を変更しておりますが、主旨に変更はございません。2017年も素敵な企画をたくさんご用意してお待ちしておりますので、どうぞお誘い合わせの上、お運びください。

2017.11.23更新

[次の WINDS CAFE は..... 資料 チャリティー・オークション](#)

次の **WINDS CAFE** は.....

● WINDS CAFE 252 in **原宿** ●

【ルドンと音楽 ～見えぬものの絵画、聴きえぬものの音楽～】

松本智勇（洋梨好き）+平井千絵（フォルテピアノ **etc**弾き）

2017年12月10日（日）午後1時半開場



カーサ・モーツァルト 東京都渋谷区神宮前1-10-23 3階
地下鉄「明治神宮前」出口5徒歩2分/JR「原宿」徒歩5分
<http://casamoz.org/index.html>

入場無料（投げ銭方式）差し入れ大歓迎！（特にお酒や食べ物）

※出入り自由ですが、できるだけ開演時刻に遅れないようご来場ください。

13:30 開場

14:00 開演

16:00 パーティー＋オークション

▼プログラム

【第1部 1840年代、ボルドーの音楽好きの家庭】

シューマン：『子供の情景』から「見知らぬ国から」

ショパン：舟歌

【インターヴァル 音楽的な絵画】

シューマン：予言の鳥

ハイドン：アンダンテと変奏曲 へ短調 Hob. XVII: 6

【第2部 1910年、フォンフロワドの私的なサロン】

セヴラック：シューマンへの祈り

セヴラック：鳩たちの水盤

ドビュッシー：『前奏曲第2巻』から「ヒースの荒野」

ファリャ：ドビュッシーの墓へのオマージュ

▼川村からひとこと

さあ、今年も12月がやってきました。12月の WINDS CAFE は、恒例の、プレゼンテーションの魔術師・松本智勇さんの出番です。松本さんが作るプレゼンテーションは、人がパソコンとどこまで仲良くなれるのか、その限界を教えてくれる域に達しているといっても過言ではありません。

さて今回は、昨年12月に引き続き、松本さんがコレクションもしていらっしゃる（！）ルドンです。好きなものやこととお話する松本さんがどのくらい愛にあふれたトークを展開するか、期待に胸が膨らむとはこのこと。趣味人の鏡にして粹人の羅針盤たる松本さんが見せ語り聞かせる内容はもちろん濃さ100%。

そして、なんと、2014年 WINDS CAFE 214 【見えるピアノの物語】でセヴラックを、続いて2016年 【ドビュッシー 前奏曲】をモダンピアノ（とはいえ、偶然にもせよ、どちらも100年前に作られた楽器でした）で演奏してくださった平井千絵さんの生演奏とのコラボ。いやはや、なんでこんなことになったのか、詳しくは下記松本さんの手紙を参照くださいませ。

フォルテピアノ奏者としてキャリアを築いてこられた平井さんが、モダンピアノをあらためて弾く決心を固めたきっかけが、2014年の WINDS CAFE の会場にフォルテピアノを搬入できなかったことになったという逸話に加え、平井さんのセヴラック発見やセヴラック協会への入会にもまた WINDS CAFE での松本さんとの邂逅があったなどなど、今回は魂の交歓会な趣に満ちていますね（笑）。

どうぞお楽しみに！

▼松本智勇さんからの手紙

昨年の WINDS CAFE 240 【オルフェウスの樹 ～オディロン・ルドン没後100年に～】は、幸いなことに無事終わることができました。フランス世紀末の画家ルドンは、自身が優れた音楽家だったこともあり、音楽との結びつきは画家のなかで特に強く（匹敵できるのはクレールでしょうか）、テーマとしても大きいので、あえて音楽については触れずに、翌年以降に持ち越すことを最初から決めていました。

そういう構想を終了後のパーティーで明らかにし、せっかくベヒシュタインもあるので録音ではなく生の演奏があれば良いのですが……と話したところ、なんと！！お客様で来て頂いていた平井千絵様よりコラボの申し出を頂き、その場で今回の出演が決まりました。

平井さんのピアノを、これまで **WINDS CAFE** をはじめ聴く機会が何度かありましたが、本当に素晴らしく、ルドンが特に好んだシューマンや実際に親しかったセヴラックやドビュッシーも得意とされているので、これ以上相応しい人はいないのではないかと思います。さらに（後から発見）平井さんのアルバム「[1840](#)」は、ルドンの生まれ年！ お願いしてよかったと思っています。

ルドンと音楽については、調べてみると国内外で企画展の折に併設コンサートが開かれています。プログラムをみると、最初の頃は同じ時代の作曲家をとりあげるだけだったのが、最近のものは交友関係を中心に、より踏み込んでいく傾向にあります。

WINDS CAFE 252 は、こうした傾向からは少し離れて、ジャンケレヴィッチの「[音楽と筆舌に尽くせないもの](#)」を手掛かりに、聴覚と視覚の芸術について触れられたらと思います。また、ルドンが生きた時代はフォルテピアノからモダンピアノに移行する真っ只中にあり、平井さんの演奏で体験できるのではないかと楽しみにしています。

▼平井千絵さんからの手紙

松本智勇さんとは、この **WINDS CAFE** がご縁で出会いました。

その華麗なるレクチャーには何度か触れ、手品師が箱から花をどんどん取り出すかのように湧き出てくる知の花吹雪に、感嘆のため息をほーほーと漏らすしかなかったのですが、このたびなんと、混ぜていただけることになりました！ 狂喜！

ところで松本さんは、わたしとセヴラックの出会いを予知していらしたのです。手品師どころじゃない、すごい魔術をもった方なのかもしれません。

ルドンとセヴラック。ものすごく気になりますよね？ あの一目の恐ろしい絵を描いたひとと、セヴラックがですよ、とても深いつながりがあったことを知りつつあります。

松本さんとともに、楽しく、驚きに満ちた謎の数々を解く旅にご一緒しましょう！

▼プロフィール

●松本智勇（まつもと・としお）：1963年長野県生まれ、川村幸子さんが羨む卯年。長岡技術科学大学大学院修了。医療材料の研究開発を行う。**WINDS CAFE** では毎年12月に出演させて頂き、今年で21回目を迎えた。日本セヴラック協会会員。洋梨好き。

<http://holzweg.web.fc2.com/>

●平井千絵（ひらい・ちえ）：桐朋学園大学ピアノ科卒業後、フォルテピアノの幻想的な音色と出会い、オランダ政府給費留学生、文化庁在外派遣研修員として渡欧、オランダ王立音楽院フォルテピアノ科修士課程を首席卒業。在学中にソリスト、室内楽奏者として演奏活動を開始。「その透明で軽やかな真珠のような演奏は、音楽的直感と銜いのない名人芸を伝えた(**Wiener Zeitung**)」など各国のメディアで絶賛される。

銀座・王子ホールぶらっとコンサート『ぴあのの部屋』シリーズをはじめ、ユニークな活動を展開。チェロの鈴木秀美氏とのデュオで、2006年文化庁芸術祭優秀賞を受賞。YIAP国際コンクール(ベルギー)第1位、ブルージュ国際古楽コンクール第3位、ファン・ヴァッセナール国際室内楽コンクール第3位。NHK「クラシック倶楽部」、「らららクラシック」などに出演。

これまでに国内外で13枚のCDをリリース。現在進行中の、モーツァルトのピアノ・ソナタ全曲録音『**Mozart Speaks**』第1集と第3集、第4集はレコード芸術誌特選盤に、第2集は準特選盤に選ばれ、各方面で高く評価される。

東海大学音楽学課程非常勤講師。日本セヴラック協会会員。

<http://www.chiehirai.com/>

カーサ・モーツァルト



もっと音楽のある生活を！ もっと気軽に生演奏を！ そんな発想で新しくスタートした音楽サロンです。

ここはかつて大のモーツァルトファンだった父中村眞がモーツァルトを聴くためのプライベートスペースでした。

1976年より父はヨーロッパ各地のモーツァルトゆかりの地を訪ね歩き、書籍や資料を蒐集して少しずつ持ち帰り、1983年にモーツァルト愛好家たちの集まる場所を作ってカーサ・モーツァルト（モーツァルトの家）と名付けました。

父亡き後、遺された多くの書籍やレコードを整理しながら、学友たちと何か出来ないものかと話しました。そして我々自身で床掃除、壁のペンキ塗りと少しずつ綺麗にしていき、多くのアーティストたちの一助になればとの思いで、企画運営に乗り出しました。

ここ新しいカーサ・モーツァルトでは創造を形にする様々なパフォーマンスを行うことができます。小ぢんまりとした空間なので観客との一体感を肌で感じることができます。

(カーサ・モーツァルト代表理事 中村孝)

それでは2017年12月10日（日）に原宿でお目にかかりましょう。

◆予告編◆

2018年01月28日(日)

WINDS CAFE 253 in 原宿 【津田宗明作曲個展「音楽のある風景」 一声、ヴァイオリン、ピアノ】
薬師寺典子（ソプラノ）、迫田圭（ヴァイオリン）、大須賀かおり・津田宗明（ピアノ）

2018年02月18日(日)

WINDS CAFE 254 in 原宿 【鈴木治行個展】
岩瀬龍太（クラリネット）

2018年03月18日(日)

WINDS CAFE 255 in ? 【幻想 -C.P.E.バッハとベートーヴェンを中心に-】
平井千絵（フォルテピアノ）

2018年04月22日(日)

WINDS CAFE 256 in 原宿 【中川俊郎自作自演ピアノライブその2 子供のためのピアノ曲 VS 大人のための(?)ピアノ曲】
中川俊郎（ピアノ）

2018年05月20日(日)

WINDS CAFE 257 in 原宿 【（タイトル未定）】
山中信人（津軽三味線）

2018年06月17日(日)

WINDS CAFE 258 in 原宿 【理系音楽家と共に】
西耕一（企画）+今江望（音具製作）+清道洋一（作曲）

2018年07月22日(日)

WINDS CAFE 259 in 原宿 【小提琴遊戯会】
迫田圭（ヴァイオリン）

2018年08月26日(日)

WINDS CAFE 260 in 原宿 【日曜日は原宿で箏を聴く】
木田敦子（箏）

2018年09月30日(日)

WINDS CAFE 261 in 原宿 【Phidias Trio リサイタル】
Phidias Trio フィディアス・トリオ
川村恵里佳（ピアノ）
松岡麻衣子（ヴァイオリン）
岩瀬龍太（クラリネット）

2018年10月21日(日)

WINDS CAFE 262 in 原宿 【打楽器百花繚乱 V】
會田瑞樹（打楽器）

2018年11月18日(日)

WINDS CAFE 263 in 原宿 【「鉄道ピアノ」音楽帳】
後藤國彦（ピアノ）

2018年12月16日(日)

WINDS CAFE 264 in 原宿 【レクチャー】
松本智勇（レクチャー）

[WINDS CAFE 記録集](#).....過去の WINDS CAFE の告知文や出演者プロフィール、セットリスト等を保管しています。

[WINDS CAFE 初代公式ホームページ](#).....上原敦郎氏のサイト内に創設された WINDS CAFE の初代公式ホームページ。WINDS CAFE 前史の「音楽オフ」(1996年)を含め、1997年1月の WINDS CAFE 01 から2017年2月の242 までの全告知文が収蔵されています。

[WINDS CAFE 写真集](#) (鬼頭美裕さんのサイト)WINDS CAFE の記録写真がまとめて見られます。

[旧 WINDS CAFE 会場 吉祥寺 WINDS GALLERY \(1996.05 - 2006.12\)](#).....松本智勇さんの文章と写真で紹介する WINDS GALLERY の様子です。

[旧 WINDS CAFE 会場 三軒茶屋 レンタルスペース S F \(2007.01-2008.03 + 2014.11-2015.12\)](#).....写真で紹介するレンタルスペース S F の様子です。

[旧 WINDS CAFE 会場 下北沢 MACA GALLERY \(2008.04 - 2008.05\)](#).....写真で紹介する MACA GALLERY の様子です。

[pagetop](#)

チャリティー・オークション

旧会場 WINDS GALLERY は、オーナーの板橋氏のご厚意で、破格の会場費でお借りし続けてきましたが、参加者のみなさまから、あまりにこれでは申し訳ないので、何らかの形で費用を負担できないかという声をいただきました。そのご提案をかなえるべくして考え付いたのがチャリティー・オークションです。

参加者のみなさまから提供された品物を、パーティーの最中に競売にかけ、品物は落札者に、お金は、これまた破格で会場をご提供くださる会場オーナーに、川村の支払う会場費に上乗せしてお渡しします。



1998年1月からスタートしたこのオークション、まさか競りがこんなに盛り上がるものだとはやってみるまでわかりませんでした。これまで出品されたものは、ポスター、絵はがき、陶器、にはじまり、画集やプラモデル、そして美術家によるオリジナル作品。これまでの最高値は「衣裳史」手彩色版画(アート遊提供) ¥19,000、最安値は歴代総理大臣似顔絵夫婦茶碗 ¥1 (笑)。



このシステムによって、WINDS CAFE は、川村個人商店から、投資家のみなさまをお迎えしての株式会社へと発展したことになります。また、当日ご来場いただけないにもかかわらず、出品してくださる方もいらっしゃいます。どうぞ、一度オークションへご参加ください。当日品物をご持参いただくだけで出品いただけます。もちろん競売には、どなたでもご参加いただけます。

[pagetop](#)







text by 川村龍俊 KAWAMURA, Tatsutoshi home pagetop